



「緑の募金」 使途限定募金
平成28年熊本地震復興支援事業のご案内

緑と木の温もりで 震災復興を応援しませんか？



「緑の募金」 使途限定募金 (平成28年熊本地震復興支援事業) チャリティピンバッチのご案内

「緑の募金」による
“緑と木の温もり”を活かした
復興支援のシンボルとして、
熊本県産のスキを使用し、
熊本県内で加工した
チャリティピンバッチを
制作しました。



ピンバッチへのチャリティで、
被災地の“森づくり”、
“木づかい”、そして“仕事づくり”を
応援することができます。
「復興アクション」へのご協力、
お願い致します。

森づくり

(森林整備・緑化支援)



被災地の森林復旧や居住地周辺の緑化を支援。地元産間伐材を使用したプランター等の寄贈

木づかい

(生活環境改善支援)



プライバシーの保護等に向けて、間伐材等を使用した什器の寄贈。心のケアに向けて木のおもちゃ等を寄贈

仕事づくり

(雇用創出支援)



熊本県産のスキ等を活用し、熊本県内でのチャリティグッズの製作を通して、被災地周辺での雇用創出を支援

「緑の募金」への協力の方法

募金方法

1 郵便振替口座

[口座番号] 00150-0-173400
[口座名義] 公益社団法人 国土緑化推進機構 緑の募金

2 銀行口座

[口座番号] みずほ銀行 町村会館出張所 普通 1834713
[口座名義] 公益社団法人 国土緑化推進機構 緑の募金

3 インターネット募金

詳しくは、以下のサイトをご覧ください。
<http://midorinobokin.net/>



※振込用紙等の通信欄に「使途限定募金 (平成28年熊本地震復興支援事業)」とご記入下さい。また、振込料無料の専用郵便振替用紙をお送りいたします。

「緑の募金」の特徴

緑の募金にご寄附頂いた場合、以下の優遇措置や顕彰制度をご活用頂けます。
詳しくは、「緑の募金」公式サイトをご覧ください。

●優遇措置

[法人の場合] 法人税を損金算入
[個人の場合] ①所得税を税額控除・所得控除
②住民税 (都道府県民税・市町村民税) を控除

●顕彰制度

一定額以上のご寄附頂いた企業・団体、個人に、以下の感謝状を贈呈
農林水産大臣感謝状 / 林野庁長官感謝状
国土緑化推進機構理事長感謝状

皆さんの組織でも、
取り組んでみませんか

募金箱の設置

職場や店舗等に募金箱を設置し、従業員や顧客に広く募金を呼びかけてみませんか。一定の範囲で、募金箱や緑の羽根等の各種資材を無償で提供いたします。

ピンバッチ募金

職場内や店舗等で、ピンバッチ募金を呼び掛けてみませんか。組織内外に縦関係・メールマガジンなどでまとめて呼びかけ頂ける場合は、ご相談下さい。

協賛キャンペーン等の実施

売り上げの一部を募金する協賛商品を開発したり、募金を呼びかけるチャリティ・イベント等を開催しませんか。協賛団体は、「緑の募金」のロゴマーク等をお使いいただけます。

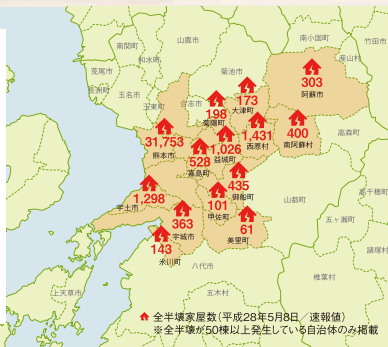


平成28年熊本地震の概要と「緑の募金」の取組

平成28年4月14日から発生している「平成28年熊本地震」では、熊本・大分両県に甚大な被害が生じ、多数の家屋が全半壊しました。

このため、避難所生活の長期化が推察されることから、生活環境の改善に向けた様々な支援が要請されています。

(公社)国土緑化推進機構では、東日本大震災において、避難所等における生活環境の改善に向けた様々な木製品の寄贈や緑化の支援等を行ってきているところであり、「平成28年熊本地震」において、その経験を活かした復旧・復興支援に貢献するため、「緑の募金」使途限定募金(平成28年熊本地震復興支援事業)を実施します。



間伐材等組立てキット「組手什(くでじゅう)」による支援

避難所の状況

避難所での生活は、24時間開放空間であるため、身体面に加えて精神面でも過大な負荷がかかります。また、物を収納する仕器も無く、段ボールに囲まれた生活を余儀なくされている場合も少なくありません。

そこで、東日本大震災では、避難所でのプライバシーの保護や生活用品の整理のため、また災害ボランティアセンターでの救援物資の整理のための棚として寄贈されて重宝されたのが、間伐材等による組み立てキット「組手什」です。



組手什の特徴

「組手什」は、小学校低学年からご高齢の方まで「①誰でも簡単に組み立てられる」こと、避難者のニーズに合わせて、カットしたり組み合わせたり「②自由にサイズを調整できる」こと、そして接着剤を使わないため、避難所から仮設住宅、恒久住宅へと移り住む際にも分解すれば、また形を変えて「③再利用できる」ことが特徴です。



東日本大震災の事例から

様々な復旧・復興に向けた支援を行います



緑化 プランター等の寄贈

間伐材を利用したプランター等の寄贈で、緑の潤いのある避難所づくりを支援します。



緑化 避難所や学校周辺の緑化

避難所の住民同士の交流や緑豊かなまちづくりに向けた緑化活動等を支援します。



木づかい 木のおもちゃ等の寄贈

親子の心のケア等に資するため、被災地に木のおもちゃを寄贈します。

組手什とは

組手什は、間伐材や製材時の端材などを有効活用することや、森林整備を促進することも目指して考案されました。

組手什は、右図のような長さ約2m×幅40mm×厚さ15mmの間伐材等に、“組手”とよばれる加工が施された部材を数本～数十本組み合わせることにより、収納棚から机まで、様々な用途に使える組立てキットです。



2010年に愛知県で開催された「生物多様性条約締約国会議」(COP10)の関連行事でお披露目され、その後、間伐材を使用し、リユースもできるという特徴が評価され、日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ」内でも毎年活用されています。

「組手什」活用の応用例

東日本大震災の事例から



学習机

避難所生活が長期化する中で、子どもたちの学習机が無いとの意見を受けて、その場で学習机が制作されました。



救援物資の整理棚

段ボールに入っているため中身が見えずらく、かつ平置きでスペースを取っていた救援物資の整理棚などとしても活用されました。



情報掲示スペース

避難所に寄せられる様々な情報を掲示するパンテーションや、パンフレット等を配布する棚としても使用されました。



仮設住宅や公民館等で再利用

避難所が閉鎖された後も、仮設住宅での棚として使用されたり、公民館の図書室の書棚などとして再利用されました。

東日本大震災での実績 (復興期での取組)

東日本大震災の復興期に、避難所に寄贈された組手什は、仮設住宅や公民館等で再利用されたほか、様々な場面で活用されました。



被災後に再建した図書館の書棚にも組手什による本棚が設置されました。



また、今日では被災地の緑の少年団で、環境教育や防災教育の一環で、異年齢でのグループワークとして組手什の制作体験も行われています

東日本大震災の事例

様々なカタチで、被災地を応援しませんか。



店頭でお客様とともに募金 (プロントコーポレーション)

各店舗に募金箱を置くとともに、募金付きのメニューを設定して、お客様とともに募金



WEBでの募金の呼びかけ (緑のgoo)

募金の呼びかけページを設定し、コンテンツ利用や検索時の広告収入の一部を募金



協賛商品の開発や・イベントでの寄付 (全労済)

募金付きの火災保険を設けるとともに、チャリティイベントにおいて募金を呼びかけ